

イワツツジ	<i>Vaccinium praestans</i> Lamb.	絶滅危惧 I 類
		ツツジ科
選定理由	個体群の数と個体数が極めて限られている。	写真(高橋弘)
形態の特徴	落葉性の小低木。茎は細長く匍匐して先が斜上し、高さ1-4cm。葉は茎の先に互生し、広楕円形、鋭尖頭、縁に細鋸歯があり、長さ3-6cm、幅2-5cm。前年枝の枝先に総状花序ができ、2-3花がつく。花冠は筒状鐘形で先は5裂し、長さ6-7mm、白色で赤みがかかる。雄蕊は10本。	
生態的特徴	冷温帯上部の湿地に生育する。花期は7月。	
分布状況	千島、カムチャツカ、ウスリー、サハリンに分布し、日本では北海道から本州中部地方まで見られる。岐阜県では県北に僅かに見られる。	
減少要因	開発による湿地の破壊と山草愛好家による採取。	
保全対策	湿地の保全と採取の禁止。	
特記事項		
参考文献		
		※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責: 高橋弘